



支援部便り

令和5年度1号（地域版）
宮城県立気仙沼支援学校支援部
TEL 0226-24-3019
FAX 0226-24-4519

新年度が始まりました。どの施設や学校でも、新しいメンバーでスタートを切ったことと思います。気仙沼支援学校でも、新しい仲間を迎えてスタートいたしました。今年度は小学部6名、中学部7名、高等部9名が入学しました。児童生徒59名、元気で明るく学校生活を送れるよう、教職員一同頑張っております。また、地域支援におきましても『気仙沼市・南三陸町地域のセンター的機能』の充実に努めて参ります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



令和5年度「ひまわり相談」について



今年度の地域支援は、専任2名で相談業務を行います。よろしくお願いいたします。

地域支援コーディネーター：小野寺 由紀（専任） 阿部 尚子（専任）

昨年度は、皆様の御協力により、安全に地域支援の活動を行うことができました。今後も感染症予防対策を行いながら、活動を実施していきます。なお、感染が拡大するような場合は、臨機応変に対応させていただきますので、御承知おきください。また、相談業務を担当するメンバーの変更もあり、業務内容を以下のように変更（※の部分）いたしますので、御理解と御協力をお願いいたします。

<電話による相談>

パンフレット記載の電話番号にかけて「ひまわり相談お願いします。」とお話してください。担当が不在の場合は、折り返し電話いたします。 **受付時間 9:00~16:00**

<来校による相談>

支援学校に来校の相談については、その日の体調などお伺いしたり検温の御協力をいただいたりします。御協力をお願いいたします。 **来校相談 9:00~16:00**

<訪問による相談>

訪問先の幼稚園・保育所・こども園等、小中学校、高等学校等の要請により、訪問しての相談等を行います。保育参観や授業参観につきましても同様に実施しますが、感染状況によって変更する場合がありますので御了承ください。

※1 令和5年度から来校相談及び訪問相談の申し込みを1月末日までといたします。

※2 来校相談及び訪問相談につきましても2月末日までとさせていただきます。3月の訪問につきましても御相談ください。

※3 訪問に係る旅費については、1ケース2回まで県負担となります。3回目が必要な場合は他所属支出にて依頼元での御負担をお願いします。

※4 なお、緊急性のある場合は、※1※2の限りではありません。御相談ください。

<検査について>

本校は検査機関ではないため、「検査をしてほしい」という御要望にはお応えしておりません。相談を進める中で、実態把握の一環として実施することはあります。

なお、学校や幼稚園・保育所等から、保護者の方へ「ひまわり相談」を御紹介いただく場合は「個別の教育支援計画」や「学校（幼稚園・保育所等）での様子」など、これまでの支援・指導の経緯が分かる資料を提供いただくこともある旨をお伝えしてください。



～支援部の主な事業内容～

◎教育相談

「ひまわり相談」として地域の子どもの健やかな成長のお手伝いをします。障害（診断）の有無、相談歴の有無にかかわらず、保護者の方、保育所・幼稚園・学校（小学校から高校まで）の職員の方、どなたからの相談も受け付けています。

◎情報提供

特別支援教育や本校の教育に関わる情報をお知らせいたします。

◎研修会等

研修会・講演会等の実施をいたします。

◎その他

主にセンター的機能の充実に関わる事業を行っています。

※詳しくは気仙沼支援学校ホームページを御覧ください。

令和5年度 研修会のお知らせ（特別支援学校専門性向上研修会）

日時：令和5年8月23日（水）

テーマ：未定（決まり次第ホームページにアップします。）

対象：本校職員、保護者、幼・保・小・中・高等学校教職員等

※新型コロナウイルス感染状況により、本校職員のみでの実施となる場合もありますので、御了承ください。なお、昨年度同様 YouTube 配信等も計画しております。



<書籍の紹介>



『気になる子の過ごしやすい園生活のヒント』

執筆：あすなる学園 Gakken

気になる子どもへの対応の仕方について、保育所や幼稚園用に書かれていますが、考え方としては小学校でも十分に通用する内容です。知的に遅れがなさそうだけれど他の子どもより得意なことと苦手なことの差が大きい、発達にゆがみがあると思われる子どもたちに焦点を当てています。

例) ・場面の切り替えがスムーズにできない

・集団遊びに参加できない

・指示がとおりにくい など

支援のヒントが記載されています。

『集団をつくるルールと指導』

赤坂真二：編著 明治図書

新年度が始まり、学級担任の先生方はどのような学級づくりをしようか、期待と不安が入り交じった気持ちなのではないかと思います。この本は、学級づくりに必要なルール作りのヒントとなる一冊です。初任の方にもお勧めです。

1 最も大切な「話を聞くルール」

2 「話を聞く力」を育てるために教師がすべき4つのこと

3 やる気を引き出すルールづくり 他



支援部便り2号以降は、気仙沼支援学校ホームページにアップいたしますので御覧ください。今年の桜は早いですね。🌸 仕事の手を休めて、景色を眺めながらホッと一息つきましょ🌸

